

安全データシート

1. 製品説明及び会社情報

製品説明

製品名 : FL-330 氷結・ネジゆるめ剤スプレー

種類 : 鉱油
主な用途 : 防錆潤滑油

会社情報

会社名 : 旭エンジニアリング株式会社
住所 : 〒553-0002 大阪府大阪市福島区鷺洲4-4-3
担当部門 : 管理部 TEL番号:06-6452-5811
緊急連絡先 : 同上 FAX番号:06-6452-5770
作成日・改定日 : 2021年4月16日

2. 危険有害性の要約(1)

【GHS分類】

物理化学的危険性

火薬類	分類できない
・可燃性/引火性ガス	分類できない
・可燃性/引火性エアゾール	区分1
・支燃性/酸化性ガス	分類できない
・高压ガス	分類できない
・引火性液体	区分2
・可燃性固体	分類できない
・自己反応性化学品	分類できない
・自然発火性液体	分類できない
・自然発火性固体	分類できない
・自己発熱性化学品	分類できない
・水反応可燃性化学品	分類できない
・酸化性液体・酸化性固体	分類できない
・酸化性固体	分類できない
・有機過酸化物	分類できない
・金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

健康に対する有害性

・急性毒性(経口)	分類できない
・急性毒性(経皮)	分類できない
・急性毒性(吸入:ガス)	分類できない
・急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
・急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
・急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
・皮膚腐食性・刺激性	分類できない

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない

標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 分類できない

標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 分類できない

吸引性呼吸器有害性 区分1

環境に対する有害性

水生環境急性有害性(急性)	分類できない
水生環境慢性有害性(慢性)	分類できない

オゾン層への有害性 分類できない

ラベル要素

絵表示



【注意喚起語】

危険

〔危険有害性情報〕 極めて可燃性の高いエアゾール
 高压容器：熱すると破裂のおそれ
 眠気及びめまいのおそれ
 引火性液体及び蒸気
 飲み込むと有害
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 吸入すると有害、呼吸困難のおそれ

取扱注意

《予防策》

加压容器：使用後も含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
 裸火または高温の発熱体に噴霧しないこと。
 熱／火花／裸火／高温体／直射日光の当たる場所のような着火源から遠ざけること。－禁煙。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。
 適切な保護手袋／保護眼鏡／保護マスク／保護面／保護衣を着用すること。
 取り扱い後はよく手洗いすること。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 使用前に取扱説明書入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

《応急措置》

吸入した場合は空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合は直ちに医師に連絡すること。
 無理に吐かせないこと。
 目に入った場合は多量の水で洗った後、出来るだけ早く医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合は多量の水と石鹸で洗うこと。
 衣服等に付着した場合はその汚れをよく落とすこと。

《保管》

日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。
 換気の良いところに保管すること。涼しいところに置くこと。
 火気、熱源から遠ざけて保管すること。
 40℃以上になる所には置かないこと。
 水回りや湿度の高いところに保管すると、容器腐食して破裂の恐れがあるので保管場所に注意すること。
 旋錠して保管すること。

《廃棄》

使い切ってから廃棄すること。
 内容物／容器を各都道府県／市町村の規則に従って、専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成及び成分表

成分及び含有量(危険有害物質を対象)

成分名	CAS No.	含有量 Wt.%	PRTR法	備考
LPG		80～90		
プロパン	74-98-6	0.0%以上—60.0%未満		
ノルマルブタン	106-97-8	40.0%以上—100%未満		
イソブタン	75-28-5			
ノルマルペンタン	106-97-8	2.5%未満		
イソブタンペンタン	78-78-4			
潤滑油基油(鉱油)	64742-47-8	1～10		
添加剤		0.1～5		
蒸留(石油)水素化処理した軽質留分		1～10		

化学特性(化学式) 特定できない。
 官報公示整理番号(化審法、安衛法) 企業秘密なので記載できない。
 CAS No. 企業秘密なので記載できない。

4. 応急処置

目に入った場合 : 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
 出来るだけ早く医師の診断を受けること。
 皮膚に付着した場合 : 付着物を布で素早く拭き取る。
 : 大量の水及び石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
 溶剤、シンナーなどは使用しないこと。
 吸入した場合 : 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
 : 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、
 暖かくし安静にする。呼吸が不規則あるいは止まっている場合には人工呼吸を行う。
 嘔吐物は飲みこませないようにする。直ちに医師の手当てを受けさせること。
 : 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所で安静にし、
 直ちに医師の診断を受けること。
 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
 : 嘔吐物は飲みこませないこと。
 : 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

8. 暴露防止および保護措置(2)

- 設備対策 : 取り扱い設備は防爆型を使用する。
 : 換気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
 : 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれなような設備とすること。
 : 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用するなど作業者が直接暴露されないような設備とすること、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
 : タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所、特に底部まで充分に換気が出来る装置を取り付けること。
- 保護具 <<目の保護具>> : 取り扱いには保護眼鏡を着用すること。
 <<皮膚の保護具>> : 有機溶剤または化学薬品が浸透しない手袋を着用すること。
 <<呼吸器系の保護具>> : 有機ガス用防毒、空気呼吸器、密閉された場所では送気マスクを着用する。
 : 密閉された場所では送気マスクを着用する。
 : スプレー作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
 <<適切な衛生対策>> : 作業中は飲食、喫煙をしない。
 : 取扱い後は手をよく洗う。

9. 物理的および化学的性質

	原液	噴射剤	LPG
状態	(容器内・解放時)液体	プロパン	
色	暗緑色	融点・凝固点	-189.7°C
臭気	臭気あり	沸点、初留点及び騰範囲	-42°C
pH値	情報なし	引火点	104°C
融点	情報なし	燃焼範囲(爆発範囲)	下限1.4% 上限9.5%
沸点	情報なし	蒸気圧(40°C)	1.275MPa
引火点	70°C以上	ガス比重(空気=1)	2.5
発火点	情報なし	液比重(水=1)	0.5
爆発限界	(下限) 1.0 vol % (上限) 7.0 vol %	溶解度(20°C)	0.0061g/100ml
蒸気圧	情報なし	n-オクタール/水分配係数(log Pow)	2.36
蒸気密度	情報なし	自然発火温度	2.30
密度(比重)	0.84	その他のデータ	309°C
溶解性	水に対する溶解性: 不溶	(分子量)	44.1
n-オクタール/水分配係数	情報なし		
分解温度	情報なし		
その他			

10. 安定性および反応性

- 安定性 : 常用温度で缶内圧は約0.42MPaで安定
- 避けるべき条件 : 高压ガスが入っており、40°C以上になると破裂の恐れがある。
 : 水回りや湿度の高いところに保管すると、容器腐食して破裂の恐れがある。
 : 周囲に着火源がないことを確認して、換気を十分に行うこと。
- 危険物有害反応可能性 : 燃焼によりCO,CO2,NOX等の有毒ガスを発生する恐れがある
- その他の有害性情報 : 蒸気及びガスは引火して爆発する恐れがある。
 : 樹脂成分は空気中で酸化し、発熱、蓄積される条件があると自然発火する恐れがある。

11. 有害性情報(1)

製品としての試験の実験は実施していない。

	急性毒性 (経口mg/kg)	急性毒性 (経皮mg/kg)	急性毒性 (吸入:蒸気)	急性毒性 (吸入:粉塵) ミスト	皮膚腐食性/ 刺激性	眼損傷性/ 刺激性
塗料原液	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
LPG	分類できない	分類できない	区分外	分類対象外	分類できない	分類できない

	皮膚感作性 呼吸器感作性	生殖細胞 変異原性	発がん性	特定標的臓器 (単回曝露)	特定標的臓器 (反復曝露)	吸引性呼吸器
塗料原液	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	区分1
LPG	分類できない	区分外	分類できない	区分3(麻酔作用)	分類できない	分類できない

12. 環境影響情報 製品としての試験の実験は実施していない。

	水性環境急性有害性	水性環境慢性有害性
原液	情報なし	情報なし
	分類できない	分類できない

- ☆ 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意すること。
特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
- ・ 生態毒性 : 情報なし
- ・ 残留性 : 情報なし
- ・ 残留性・分解性 : 情報なし
- ・ 生態蓄積性 : 情報なし
- ・ 土壌中の移動性 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄をする場合には、ガスを完全に抜いた後に行う。
: 廃塗料、容器の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
: 容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
: 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
: 廃塗料などを処理する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
- 汚染容器及び包装 : 中身を使い切ってから分別廃棄する。

14. 輸送上の注意

- 共通 : 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
: 容器漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
- 陸上輸送 : 運搬に際しては、容器を40℃以下に保ち、転倒、落下、損傷が無いように注意すること。
: 消防法、労働安全法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。
- 海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。
- 航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。
- 国連番号 : 1 9 5 0
- 国連分類 : IMDGコード class2.1

15. 適用法令

- ☆ 労働安全衛生法 危険物 : 引火性物質、可燃性ガス
- ☆ 高圧ガス保安法 適用除外項目対象 : エアゾール
- ☆ 消防法 第4類第3石油類 危険等級Ⅲ
- ☆ 船舶安全法 危険物(高圧ガス)
- ☆ 化学物質管理促進法(PRTR) 指定化学物質等
- ☆ 危険物船舶運送及び貯蔵規則 IMDGコード class2.1 (UN.No.1950)
- ☆ 悪臭防止法
- ☆ 労働安全衛生法 第57条 表示対象物質を含有しない。
第57条の2 通知対象物を含有しない。

16. その他の情報

- 主な引用文献 : 許容濃度の勧告(2010)日本産業衛生学会
- : Thresholds limit Values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices ACGIH (2010)
- : IARC Monographs Programme on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans (2006)
- : 米国産業衛生専門会議: ACGIH documentation (2006)
- : EC 理事会指令「67/548/EEC」の付属書I「危険な物質リスト」
- : 安藤/パラケミー株式会社
- : NITE GHS分類公表データ
- : EU CLP Regulation, Annex IV
- : ECHA Registered Substances Database

[注意]

このSDSは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。
当該製品の危険・有害性に関する情報および評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。
ご使用者の責任において安全な取扱い方法をお決めください。
このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。
記載内容の中で含有量・物理的・化学物質などの値は当該製品の品質保証とは関係ありません。
地方自治体の規制情報は含まれていません。
安全操業や排出・廃棄等の場合に配慮すべきことは、当該自治体の規制に従い対処してください。